

“張三追累了李四” という結果構文の複数の 解釈に対する一考察

秋 山 淳

目 次

1. 問題の所在
2. 先行研究
3. S + V1 + V2 + O が記号化しているもの—認知言語学的アプローチ¹⁾
4. 他動詞型結果構文—“V+ 累”
5. 他動詞型構文に現れる V+ 累の用例
6. 非使役義に解釈される “S + V + 累 + O”
7. 使役義に解釈される “S + V + 累 + O” (i)
8. 使役義に解釈される “S + V + 累 + O” (ii)
9. 使役義に解釈される “S + V + 累 + O” (iii)
10. “張三追累了李四” の “追累” の変化を被る対象が主語である時 (非使役義)
11. “張三追累了李四” の “追累” の変化を被る対象が目的語である時 (使役義) ii
12. “張三追累了李四” の “追累” の変化を被る対象が目的語である時 (使役義) iii
13. まとめ

1. 問題の所在

中国語の結果構文は動詞と動詞あるいは形容詞を並べる serial verb の形式で表される：

- (1) 武松打死了老虎「武松が虎を殴り殺した」

項構造：V1 (他動詞)：打「殴る」(张三 (老虎))，

V2 (非対格動詞)：死「死ぬ」((死))

- (2) 胖子坐塌了椅子「ふとっちゃんが座って椅子を壊した」

項構造：V1 (非能格動詞)：坐「座る」(胖子 ())，

V2 (非対格動詞)：塌「崩れる」((椅子))

- (3) 张三砍倒了大树。「張三は大木を切り倒した」

項構造：V1 (他動詞)：砍「(斧などで) たたき切る」(张三 (大树))，

V2：倒「倒れる」((大树))

上記の (1) ~ (3) の結果構文は何れも、(4) S + V1 + V2 + O の構文で表され、主語の目的語に対する行為 (V1) ((1) と (3) は他動詞) が、目的語の状態変化 (V2) (何れも非対格動詞) を表すという使役義に解釈される。つまり、上記の例から中国語の結果構文である (4) は次のような解釈を持つと考えられる：

- (5) 「主語の目的語に対する動作・行為 (V1) が目的語の状態を変化 ((V2) させる」(使役義)

ところが、(4) の構文で表される解釈が、(6) のような意味に解釈されるものも存在する：

- (6) 「主語の目的語に対する動作・行為 (V1) で主語の状態が変化 ((V2) する」(非使役義)

たとえば、

- (7) 张三追累了李四。(沈 (2004)、熊・魏 (2014))

項構造：V1 (他動詞)：“追”「追う」(张三 (李四)) / (李四 (张三))，

V2 (形容詞)：“累”「疲れる」((张三)) / ((李四))

- a. 「張三が李四を追いかけて、李四が疲れた」(使役義)

項構造：V1 “追” (张三 (李四))

V2 “累” ((李四))

- b. 「張三が李四を追いかけて、張三が疲れた」(非使役義)

項構造：V1 “追” (张三 (李四))

V2 “累” ((张三))

- c. 「李四が張三を追いかけて、李四が疲れた」(使役義)

項構造：V1 “追” (李四 (张三))

V2 “累” ((李四))

沈 (2004)、熊・魏 (2014) などでも指摘されているように、(7) は a (= (5)) のように主語が目的語の状態を変化させるという使役義に解釈される他に、b (= (6)) のように、主語の目的語に対する行為が主語自身の状態を変化させるという非使役義にも解釈が可能であるという。このように、(7) は使役義と非使役義の両方の解釈が成立することから、中国語の他動詞型結果構文 (4) の意味を (5) の使役義のみを持つとは想定できない。(1) ~ (3) と (7) は (4) の他動詞型結果構文のスキーマ S + V1 + V2 + O で表されているにも関わらず、(1) ~ (3) は使役義にしか解釈されないが、(7) は使役義と非使役義の両方の解釈が可能であるのはなぜなのだろうか。本稿はこのような問題意識を手がかりに、(7) が使役義と非使役義の両方に解釈される原因について、秋山 (2016) での提案を修正しつつ、明らかにすることを旨とする。

2. 先行研究

秋山 (1998) では、影山 (1996) の日本語・英語の結果構文の分析に基づき、中国語の他動詞型結果構文 (4) もその多くが上位事象 (event1) が下位事象 (event2) を引き起こす使役事象である (= (5)) と分析した：

- (8) 张三推开了门。「張三はドアを押し開けた」

項構造：V1 (他動詞) 推「押す」(张三 (門)) ,

V2 (非対格動詞)：开「開く」((門))

- (9) 张三笑醒了李四。「(意識) 張三の笑いが李四を起こした」

項構造：V1 (非能格動詞)：笑「笑う」(张三 ())

V2 (非対格動詞)：醒「目覚める」((李四))

- (10) 张三哭湿了手绢。「張三はハンカチを泣き濡らした」

項構造：V1 (非能格動詞)：哭「泣く」(张三 ())

V2 (非対格動詞)：湿「濡れる」((手绢))

- (11) 小王冻病了孩子。「王さんは子供を凍えさせて病気にした」

項構造：V1 (非対格動詞)：冻「凍える」((孩子))

V2 (非対格動詞)：病「病気である」((孩子))

(8) ~ (11) の意味構造は次のように表される：

(8)' [张三推门]CAUSE[门开]

(9)' [张三笑]CAUSE[李四醒]

(10)' [张三哭]CAUSE[手绢湿]

(11)' [小王]CAUSE[孩子冻病]

(8) ~ (10) は主語の行為 (V1) が目的語の状態を変化させる (R(V2)) という使役事象を表し、上位事象が下位事象を引き起こすことを CAUSE が表している。

(11) では V1 (非対格動詞) “冻” “凍える” は、主語である “小王” の行為ではなく、目的語 “孩子” の状態であり、V2 “病” “病気である” は V1 が原因による目的語 “孩子” の状態変化を表し、主語の “小王” が

原因主となって、目的語“孩子”の状態変化を引き起こしていることを CAUSE で表している。

ところが、他動詞型結果構文 (4) は (7) に限らず、主語の行為 (V1) が目的語の状態変化 (R(V2)) を引き起こすという使役義 (5) に解釈されるものだけではないことは明らかである：

(12) 我们学到第十一课了。「私たちは 11 課まで学んだ」

V1：学「学ぶ」

V2：到「達成する」

(13) 这时父亲问他：“洗完了？”「この時父は彼に尋ねた：『洗い終わったか？』」

V1：洗「洗う」

V2：完「終わる」

(14) 刚才我看见他了「今し方彼を見かけた」

V1：看「見る」

V2：见「認識する」

(12) の V1 は他動詞の“学”であり、V2 の“到”は動作の結果や目的が達成されたことを表すものである。したがって、V1 + V2 “学到”は主語の“我们”や目的語の“第十一課”の何れの状態変化も表さない。

(13) の V1 は他動詞の“洗”であり、V2 の“完”は「終わる」というアスペクトを表すものであり、したがって、V1 + R (V2) “洗完”は (12) と同様に主語や目的語の何れの状態変化も表さない。

(14) の V1 は他動詞の“看”であり、V2 の“见”は「(視覚・聴覚・味覚などを) 感じ取る」ことを表すものである。したがって、V1 + V2 “看见”は (12) や (13) と同じく、主語の“我”も目的語の“他”の状態変化も表さない。

以上をまとめると、中国語の他動詞型結果構文 (4) は (1) ~ (3)、(8) ~ (11) のように、目的語の状態変化を表す使役義に解釈されるタイプ、(7) のように主語の状態変化を表す非使役義に解釈されるタイプ、(12) ~ (14) のように、主語や目的語の何れの状態変化も表さないと解釈される非使役義タイプが存在することから、秋山 (1998) で想定したように、中国語の他動詞型結果構文 (4) の意味解釈を目的語の状態変化を表すという使役義のみに想定することはできない。ではなぜ同じ他動詞型結果構文 (4) が目的語の状態変化 (使役義) に解釈されたり、主語の状態変化 (非使役義) に解釈されたり、主語や目的語の何れの状態変化も表さないと解釈されたりするのであろうか？

次節では中国語の他動詞型結果構文 (4) が使役義と非使役義の両方の解釈を持つことができる理由を明らかにするために、(4) の V1 + V2 がそもそも何を記号化しているものなのかを考察していく。

3. S + V1 + V2 + O が記号化しているもの—認知言語学的アプローチ

中国語の結果構文に用いられている“V1 + V2”が何を記号化しているのかについては、井上 (2012)、鈴木 (2014) がある。井上 (2012) では、「変化」という概念を導入し、それを (i) 自律的なもの (S+V2 了) と、(ii) 非自律的なもの (S + V1 + V2 了) の二種類が存在すると述べている。(i) ではいわゆるモノや人が自然に変化するとされるものである。²⁾

(15) 衣服脏了。「服が汚れた」

(16) 他的病好了。「彼の病気はよくなった」

(15) の“衣服”は自然に汚れたことを表し、(16) の“他的病”も自然によくなったことを表している。

ところが自然に変化したと考えられない場合もある：

(17) ?? 衣服干净了。「服がきれいになった」

(18) ?? 他的自行车好了。「彼の自転車はよくなった」

(17) の“衣服”は自然にきれい (清潔) になるとは通常考えられないし、(18) の壊れていると考えられている“自行车”も自然に治るとは考えられないので非文になる。したがって、(17) と (18) は次のように言い

換えれば、文は成立する。

(19) 衣服洗干净了。「服は洗ってきれいになった」

(20) 他的自行车修好了。「彼の自転車は修理してよくなった」

つまり、(19) と (20) は (ii) タイプの変化である。これらの変化の概念を井上 (2012, p7) では次のようにとらえている：

(21)



(21) について、中国語の動詞には時間の要素が内包されていないために、V1 と V2 を組み合わせて時間の流れを作る形で変化を叙述する。たとえば、“洗干净了” では (22) のようになる (井上 (2012, pp7-8))。

(22)



また、V1 と V2 を並べて変化を叙述するという形式を認知言語学の観点から説明するとするならば、(23) のように、V2 は V1 の参照点になると考えることができる。(木村 (2014), Tai (1984), 戴 (1990), Langacker (2000))

(23) は次のような説明になる (辻編 (2013, pp132-133))：

- (i) 第一段階では、概念主体 (概念者：C) は、アクセスのしやすい事物である参照点 (R) と心的接触 (点線矢印) をする。
- (ii) 第二段階では、参照点を経由して、支配領域 (D) 内に存在する、アクセスの難しい事物であるターゲット (T) と心的接触を果たす。

(23)

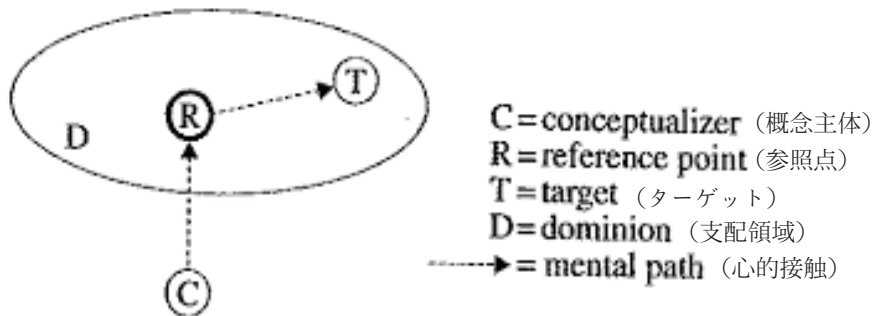


図1 参照点

(i) と (ii) に基づいて、(19) の“衣服洗干净了”を説明するならば、他動詞である“洗”と形容詞 (非対格動詞) である“干净”を並べることにより、“洗”から“干净”への時間の流れを推測 (時間的隣接性) させ、“洗”が原因に、“干净”が結果に解釈され、全体として「変化」の解釈を引き起こす (辻編 (2013, p.370))。

したがって、(4) の他動詞型結果構文はその多くが動作行為を表す V1 がターゲット、状態 (変化) を表す V2 は参照点を表し、それらが隣接されて V1V2 に配列されることにより、V1 が原因、V2 が結果に解釈される。³⁾ そして、(4) が使役義に解釈される (目的語の状態変化) のか、非使役義 (主語の状態変化または状態変化を表さない) に解釈されるのかは、V1 と V2 の動詞や形容詞の意味とその組み合わせなど、百科辞書的知識により、コンテキストから解釈されると予測する。つまり、(4) の V1 + V2 の組み合わせは変化 (BECOME) に解釈されるが、その変化を被る対象が主語なのか目的語なのかは構文では指定されていないと予測される。

4. 他動詞型結果構文— “V+ 累”

上節で考察した観点に基づいて (7) の使役義と非使役義の両解釈が成立する仕組みを考察するにあたり、S + V+ 累 + O の用例を収集した (秋山 (2014)) もの今回新たに CCL と百度で収集した例文で考察を行う。

5. 他動詞型構文に現れる V+ 累の用例

CCL 及び百度を用いて収集した他動詞型結果構文の用例に現れている “V+ 累” には次のような組み合わせのものがあつた：

(24) 抽累、吹累、打累、等累、斗累、读累、画累、揪累、看累、哭累、扭累、爬累、骑累、谈累、踢累、听累、玩累、问累、笑累、压累、走累、跑累、逛累、跳累、吃累、唱累 etc.

(24) の組み合わせの他動詞型結果構文を整理すると以下ようになる：

(25) a. 非使役義…V の目的語が “V 累” の目的語であり、“V 累” は主語の変化を表す。

b. 使役義 (i) … “V 累” の目的語は主語の身体の一部で、譲渡不可分のものであり、主語と目的語の関係は全体と部分の関係である。

c. 使役義 (ii) … “V 累” の主語の行為が目的語を疲れさせることを表す。

d. 使役義 (iii) … “V 累” の V も “累” も目的語を指向し、主語はその原因主になる。

次節においてそれぞれのタイプについて考察する。

6. 非使役義に解釈される “S + V + 累 + O”

(26) 外面没有人玩我们就在自己家里玩，院子虽然很小，但也足够我们姐弟五个闹腾。我们踢累了毽子就砸沙包，砸够了沙包就跳绳，玩厌了跳绳就捉迷藏。这样一圈玩下来，一天的时间也就折腾的差不多了。⁴⁾ 「外には遊んでいる人がいないので私たちは家で遊んだ。庭は小さいけれども、私たち 5 人兄弟が騒ぐには十分であった。毛羽を蹴り疲れるとサンドバックを叩き、十分に叩くと縄跳びをし、縄跳びに遊び飽きるとかくれんぼをした。このように一通り遊ぶと、一日の時間も殆どそうして過ごした」

項構造：V “踢” 「蹴る」 (我们 (毽子))

R “累” ((我们))⁵⁾

(27) 阿布拉揪累了猫头鹰的毛，看天看地就是不去看自己的这一对父母。太丢人了……尤其是他的父亲，每天把欺负小伊莲当做必做的事情，难怪小伊莲经常张口就咬他呢……⁶⁾ 【郁闷的阿布】「アブラはミミズクの毛をつかみ疲れたので、自分の両親を面倒見に行かなかった。全くの恥かきだ・・・とりわけ彼の父親は、毎日エイリンをいじめることを必ずすべきことと見なしている。どおりでエイリンがよく口を開いて彼にかみついている」

項構造：V “揪” 「掴む」 (阿布拉 (猫头鹰的毛))

R “累” ((阿布拉))

(28) 听累了摇滚～ 欣赏下绘画吧。。 Jan VanMechelen⁷⁾ 「ロックを聴き疲れたら～絵画を鑑賞しましょう」

項構造：V “听”「聴く」（你（摇滚））

R “累”（（你））

(26) ~ (28) の V は主語の行為や知覚を表し、その外項が文の主語になり、内項が文の目的語になっている。R は目的語の状態変化を表すのではなく、主語のネガティブな心理的な感覚を述べたものであり（熊学亮・魏薇 2014）、主語は経験者（experiencer）、目的語は被経験体（experienced）に解釈される（Friedrich Ungerer・Hans-Jörg Schmid 2006）。

7. 使役義に解釈される “S + V + 累 + O” (i)

(29) 只一次在母腹中酝酿魂灵，只一次在襁褓中哭累了眼睛，只一次在小河边裸出胴体，只一次在木排筏上嬉动黎明。(CCL)「一度だけ母のお腹で心が醸成され、一度だけおくるみの中で目が泣き疲れ、一度だけ川岸で身体をむき出しにされ、一度だけ筏で明け方まで遊んだ」

項構造：V “哭”（我（ ））

R “累”（（眼睛））

(30) 何苦强颜欢笑 笑累了自己⁸⁾「わざわざ作り笑いしなくてもいいんじゃない、自分を（笑い）疲れさせますよ」

項構造：V “笑”（你（ ））

R “累”（（自己））

(31) 小新和尊任我们斗嘴，她俩去厨房切磋厨艺，这样的分工我倒乐意的很，跟小外斗嘴可比去厨房做菜好过多了。等我们斗累了嘴，小外喝水：“咱都歇歇吧，我这咬肌都疼了”。我打开电视：“我也累了，咱看会儿电视吧”。⁹⁾「小新や尊任と我々は口論し、彼女たちは厨房に行くとき調理の技を競っている。このような分担は本当にうれしい。小外と口論するのは厨房に調理に行くよりずっと気分が良い。我々が口論に疲れれてから、小外はつばをのみこういった：「休憩しよう。咬筋が痛くなったよ」私はテレビを付けるとこういった：「私も疲れた。しばらくテレビを見ましょう」」

項構造：V “斗”（我们（ ））

R “累”（（嘴））

(29) ~ (31) の V は主語の行為を表し、その外項が文の主語になり、目的語は主語である人の身体の一部になっている。したがって、主語である人は動作主に、目的語である主語である人の身体の一部は受動者に解釈されて、上位事象が下位事象を引き起こす使役事象に解釈される。

8. 使役義に解釈される “S + V + 累 + O” (ii)

(32) 久已忘却的疼痛又一次压累了斯蒂尔的胸口。这种痛，仿佛与流热的时光融合在了一起。「とっくに忘れていた痛みがまた一度スティールの胸を押さえて疲れさせた。この種の痛みは、あたたかも熱を伝える時と融合したかのようだった」(CCL)

項構造：V “压”（久已忘却的疼痛（斯蒂尔的胸口））、

R “累”（（斯蒂尔的胸口））

(33) 一阵寒风吹过，吹寒了我的心，更吹累了我的心。我慢慢的，慢慢的睡着了……“主人，看你很心疼吧，让我给你一个愿望吧！”¹⁰⁾「ひとしきり寒い風が吹き、私を失望させ、いっそう疲れさせた。私はゆっくりと眠りについた……『主人、かわいそうに見えるから、私に一つ願いを叶えさせて下さい』」

項構造：V “吹”（一阵寒风（ ））

R “累”（（我的心））

(34) 在一天天的焦虑等待中，他开始明白为什么那次她会因为他的一次迟到而泪如雨下，等待中的担心和焦

灼, 无法控制的胡思乱想, 揪累了她的心, 他才懂得傻丫头是多么的在乎他!!! 有多辛苦, 额头上的汗珠凝结里她觉得幸福!!!¹¹⁾「一日一日やきもきして待つ中、彼はなぜあの時に彼女が彼の一度の遅刻で激しく涙を流し、待っている間に心配したり、気をもんだりして、制御できない妄想が彼女の心を(掴んで)疲れさせたことを理解し始めた、彼はようやくお婆かさんが彼のことをこんなにも気にかけていることがわかった」

項構造：V “揪” (担心和焦灼、无法控制的胡思乱想 (她的心))

R “累” ((她的心))

(32) ~ (34) は、人ではなく何らかの出来事や自然力などが主語になり、その結果、目的語である人の身体などが心理的なまたは身体的な変化を経験するという使役事象に解釈される。特に、(27) と (34) は “揪累” の他動詞型結果構文であるが、この同じ V と R の組み合わせであっても、主語や目的語の名詞句の違いにより、使役義と非使役義の解釈の違いが生じている。

9. 使役義に解釈される “S + V + 累 + O” (iii)

(35) 今年江苏电网招聘真是等累我了。¹²⁾「今年江蘇電力ネットワークの募集を私は待ち疲れた」

項構造：V “等” (我 (江苏电网招聘))

R “累” ((我))

(36) 有一次默存走到老远, 发现小趋还跟在后面。他怕走累了小狗, 捉住它送回菜园, 叫我紧紧按住, 自己赶忙逃跑。谁知那天他领了邮件回去, 小趋已在他宿舍门外等候, 跳跃着鸣鸣欢迎。它迎到了默存, 又回菜园来陪我。(CCL)「ある時默存は遠くまで歩くと、小趨(犬)がやはり付いているのに気付いた。默存は犬が歩き疲れさせているのではないかと気にかかり、捕まえると菜園まで連れ帰り、きつく留め置き、急いで逃げた。あろうことか默存が郵便物を受け取り、戻ると小趨は既に默存の宿舎の入り口で待っており、跳び上がりながら吠えて迎えた。小趨は默存を迎えると、また菜園へ默存と共に戻ってきた」

項構造：V “走” (小狗 ())

R “累” ((小狗))

(35) の “S + 等 + 累 + O” は “等” の外項である “我” が、“累” の単項 (内項) である “我” と同定し、目的語の位置に置かれ、“等” の内項である “江苏电网招聘” が主語位置におかれ、原因主になり、(35) は使役事象を表していると解釈される。(36) は “走累了小狗” が “怕” の目的節となっているが、省略されている “他” を補うと “他 (= 默存) 走累了小狗” という他動詞型結果構文になる。この時、“走” の単項 (外項) である “小狗” は “累” の内項である “小狗” と同定し、目的語位置に置かれ、主語位置には “他 (= 默存)” が置かれ、原因主に解釈される。

以上 “S + V + 累 + O” が非使役義に解釈される場合と使役義に解釈される場合を見てきた。まとめると次のようになる：

- (37) a. 非使役義…V の外項が人、内項がモノであり、“累” の単項 (内項) が V の外項と同定されるとき、“V 累” の変化解釈を被るのは主語の人 (experiencer) であると解釈される。
- b. 使役義 (i) …V の外項である人と “累” の単項 (内項) が人の身体の一部である、即ち、全体一部分の関係であるとき、“V 累” の変化解釈を被るのは目的語である部分であると解釈される。
- c. 使役義 (ii) …V の外項が何らかの出来事や自然力であり、内項が人の身体部分や心理的なモノである時、“V 累” の変化解釈を被るのは目的語である部分であると解釈される。
- d. 使役義 (iii) …V の外項が、“累” の単項 (内項) と同定され、目的語の位置に置かれ、V の内項が主語位置に置かれるか、新たな名詞句が主語位置に置かれるとき、主語位置の名詞句は “V 累” の変化解釈が目的語に被らせる原因主に解釈される。

同じ“V 累”が使役義と非使役義の両方の解釈を持つこともある。たとえば“揪累”は(27)の時には(37a)のような名詞句が主語と目的語に配置されて非使役義に、(34)の時には(37c)のような名詞句が主語と目的語に配置されて使役義に解釈される。

以上を踏まえ、もう一度“張三追累了李四”について見ていくことにする。

10. “張三追累了李四”の“追累”の変化を被る対象が主語である時(非使役義)

(38) “張三追累了李四”「張三が李四を追いかけ、張三が疲れた」(非使役義)

項構造：V “追”(張三(李四))

R “累”(張三)

追いかけて疲れる“張三”は“追累”の experiencer に、追いかけられる“李四”は“追累”の experienced に解釈される(Ungerer・Schmid (2006))。これは(37a)と同じように解釈されていると考えられる。

11. “張三追累了李四”の“追累”の変化を被る対象が目的語である時(使役義)(ii)

(39) “張三追累了李四”「張三が李四を追いかけ、李四が疲れた」(使役義)

項構造：V “追”(張三(李四))

R “累”(李四)

“張三”が“李四”を追いかける(“追”)状況において、追いかけられる“李四”が疲れる(“累”)場合、追いかける“張三”は“追累”の agent/causer に、追いかけて、疲れる“李四”は“追累”の patient/causee に解釈される。これは(37c)と同じように解釈されていると考えられる。

12. “張三追累了李四”の“追累”の変化を被る対象が目的語である時(使役義)(iii)

(40) “張三追累了李四”「李四が張三を追いかけ、李四が疲れた」(使役義)

項構造：V “追”(李四(張三))

R “累”(李四)

“李四”が“張三”を追いかける(“追”)状況において、追いかけられるが、疲れない“張三”は“追累”の causer に、追いかけて疲れる“李四”は causee に解釈される。これは(37d)と同じように解釈されていると考えられる。

以上から“張三追累了李四”が三つの解釈に分かれるのは、中国語の他動詞型結果構文(4)が「主語の目的語の行為が目的語の状態を変化させる」という構文的意味を備えていないためであることが予測される。また主語と目的語が何れも「人」であることから、追いかける側も追いかけられる側の何れも「疲れる」という解釈が可能であることが予測される。たとえば目的語が“自行車”であればどうであろうか。

(41) 張三追累了自行車。

a.??「張三が自転車を追いかけ、自転車が疲れた」¹³⁾

b.「張三が自転車を追いかけ、張三が疲れた」(非使役義)

c.「自転車が張三を追いかけ、張三が疲れた」(解釈不可能)

d.「自転車が張三を追いかけ、バイクが疲れた」(解釈不可能)

“張三”が“自行車”を追いかける(V1 “追”)状況において、追いかける“張三”が疲れるという解釈が一般的である。

13. まとめ

- (一) 中国語の他動詞型結果構文 (4) の V1 と V2 はターゲットと参照点である。
 - (二) ターゲット V1 (動作)、参照点 V2 (状態) が配置され、隣接させることにより、概念者は時間の流れを推測し、変化に解釈する (Tai (1985)、井上 (2012)、Suzuki (2014))。
 - (三) 時間的隣接性からターゲットである V1 (動作) が「原因」に、参照点である V2 (状態) が「結果」に解釈される。
 - (四) (4) 他動詞型結果構文 (S+V1+V2+O) において、V1 + V2 が表す変化を被る対象が主語なのか (非使役事象)、目的語なのか (使役事象) は構文からは推測できず、V1、V2 に現れる動詞・形容詞の意味、主語や目的語が人であるかものであるかなどといった、コンテキストの支え、即ち、経験を基盤とする百科辞書的知識などの母語話者の捉え方によって決定される。したがって (7) の“追累”結果構文が使役義と非使役義という複数の解釈を取るのとは、(4) の他動詞型結果構文の意味が使役義を記号化しておらず、コンテキストに依存して解釈されるためである。たとえば、(42) は (7) と同様に、主語も目的語も「人」であるが、“追累”が表す変化を被る対象は主語にしか解釈されないことも、(4) の他動詞型結果構文が (5) の使役義を構文の意味として持っていないことを示すものであると考えられる：
- (42) (你们) 追累了大团? 那换个口味追小新团吧。¹⁴⁾ 「ビッググループを追いかけるのに疲れましたか? では嗜好を換えて新しいグループを追いかけてみたら」

<注>

- 1) S は主語、V は動詞、R は結果、O は目的語を示す。
- 2) 井上 (2012) のいう (i) 自律的变化は単純事象であり、(ii) 非自律的变化は複合事象に相当すると考えられる。
- 3) 秋山 (2016) では、V1 を参照点、V2 をターゲットとしていたが、ここで V1 をターゲット、V2 を参照点に訂正する。
- 4) 【流年往事；龙华会里客的博文大本营】
- 5) R は結果 (Result) を意味する。
- 6) 【郁闷的阿布】
- 7) 【摇滚吧】
- 8) 【个性网】 <http://www.gexing.com/qianming/21046322.html>
- 9) 【GL 文】《爱在泉城》第一部 by 微笑的温暖 <http://tieba.baidu.com/p/500005637?pn=7>
- 10) 【第 10 篇 请不要过去，夏天 1000 字；写夏天的作文 300 字】
- 11) 【李洛 & 骆 木殿 - 城市里一则未完成的故事】
- 12) 【国家电网吧】 <http://tieba.baidu.com/p/2265010506>
- 13) (a) の解釈もあり得るという中国語話者も存在する。
- 14) <http://yule.sohu.com/20161028/n471698046.shtml>

<参考文献>

- 秋山淳 2012 「中国語教育において、予め整理しておくべきこと—結果補語をモデルとして—」『西南学院大学言語教育センター紀要』第 1 号 3-14
- 秋山淳 2013 「非使役義を表す結果補語について」『西南学院大学言語教育センター紀要』第 3 号 15-19
- 秋山淳 2014 「推移と VR の捉え方」『西南学院大学言語教育センター紀要』第 4 号 1-14
- 秋山淳 2016 「結果を表す動補構造の記号化と意味機能」『下関市立大学論集』第 59 巻 第 3 号
- 井上優 2012 「テンスの有無と事象の叙述形式—日本語と中国語の対照研究」『日中理論言語学の新展望—②—意味と構文』影山太郎・沈力編 くろしお出版社 1-26
- 石村広 2011 『中国語結果構文の研究—動詞連続の観点から』白帝社
- 木村英樹 2012 『中国語文法の意味とカタチ—「虚」的意味の形態化と構造化に関する研究—』白帝社

- 辻幸夫編 2013『新編 認知言語学キーワード事典』研究社
- 楊明 2013『結果構式的認知語義研究 - 以中、日、英為例』知識産権出版社
- 山梨正明 2009『認知構文論—文法のゲシュタルト性』大修館書店
- 沈家煊 2004「动结式追累的语法和语义」『语言科学』6.3-15.
- 施春宏 2008『汉语动结式的句法语义研究』北京语言大学出版社
- 熊学亮 魏薇 2014「“NP V 累了 NP” 动结式的补语趋向解读」『外语教学理论与实践 (FLLTP)』2
- Friedrich Ungerer and Hans-Jörg Schmid.2006.An Introduction to Cognitive Linguistics.Second Edition Person Education limited.
- Goldberg,A.1995 Constructions,University of Chicago Press,Chicago. (河上誓作 / 早瀬尚子 / 谷口一美 / 掘田優子訳 2001『構文文法』研究社)
- Langacker, Ronald W. 2000. Grammar and Conceptualization Mouton de Gruyter Berlin/NewYork
- Suzuki Takeo 2014A Cross-Linguistic Exploration into the Semantics of English,Japanese and Mandarin Resultatives. Gendai Tosho.
- Tai, James. 1984 “Verbs and Times in Chinese : Vendler's Four Categories,” Papers from the Parasession on Lexical Semantics, 289-96.Chicago Linguistic Society.
- Tai James H-Y.1985 Temporal Sequence and Chinese Word Order Iconicity in Syntax: Proceedings of a symposium on iconicity in syntax, Stanford, Edited by John Haiman
- Tai James H-Y.2003 Cognitive Relativism : Resultative Construction in Chinese.Language and Linguistics4.2,pp.301-316
- Tai James H-Y.2005 Conceptual Structure and Conceptualization in Chinese.Language and Linguistics6.4,pp539-574
- Talmy Leonard 2000 Toward a Cognitive Semantics.Cambridge,MIT Press

付記 本稿は第35回福岡認知言語学会での発表に加筆修正したものである。発表に際し、貴重なご意見をくださった諸先生方、執筆に際し貴重なご意見をくださった本学の馬叢慧先生に感謝いたします。